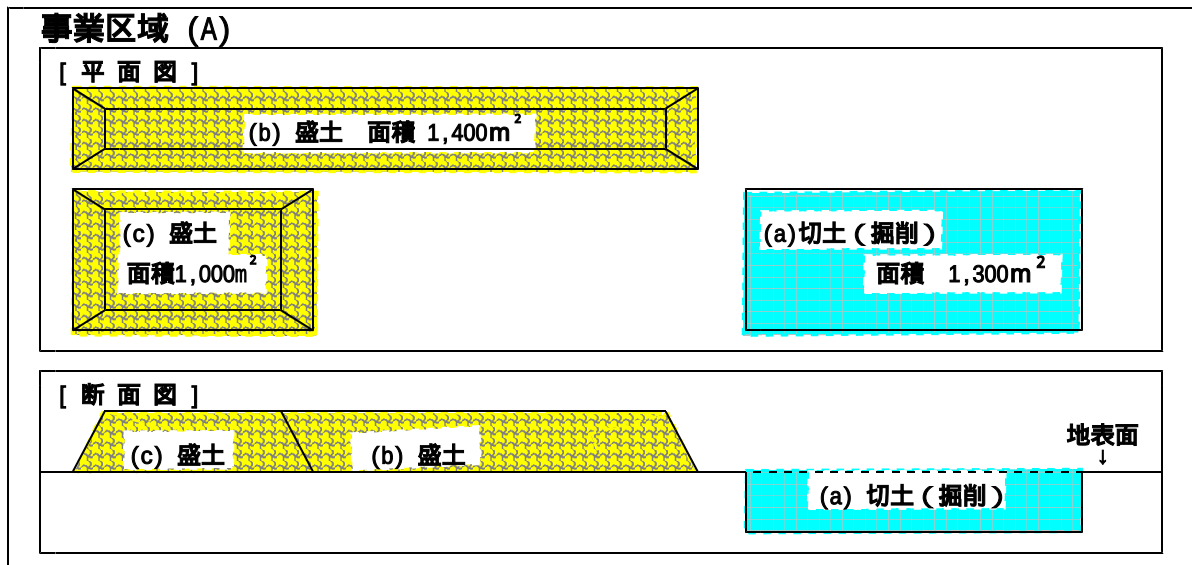
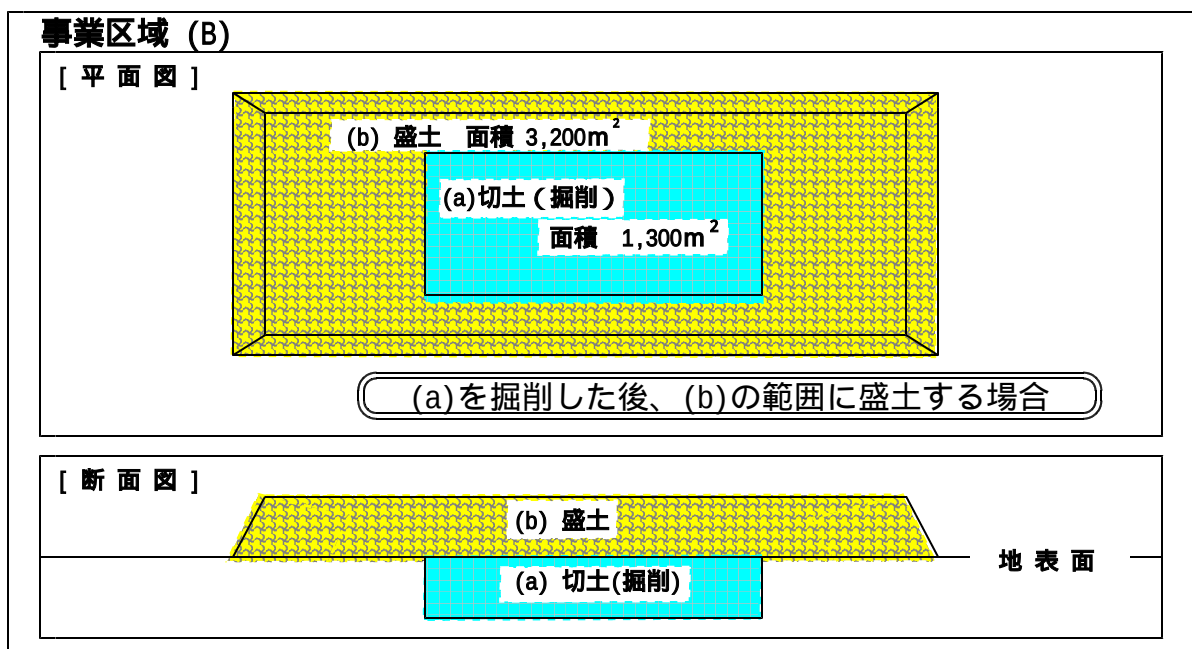


一定の規模以上の土地の形質の変更届が必要な工事例・不要な工事例

届出が必要となる場合の例



- 事業区域(A)の場合、形質変更を行う面積の合計は、
切土((a)1,300m²) + 盛土 ((b)1,400m² + (c)1,000m²) = 3,700m²となり、
3,000m²以上となるので、届出が必要となります。

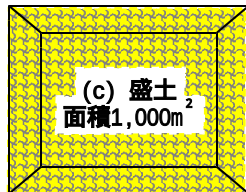
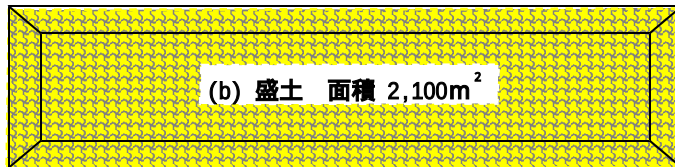


- 事業区域(B)の場合、形質変更を行う面積は、盛土(b)の範囲3,200m²であり、
3,000m²以上となるので、届出が必要となります。

届出不要となる場合の例

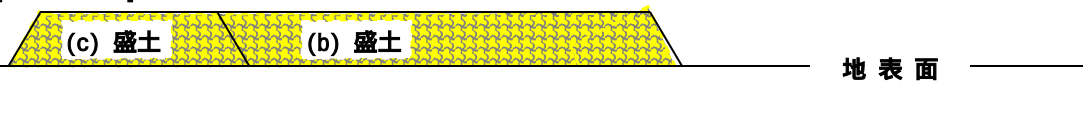
事業区域 (C)

[平面図]



盛土のみ行う場合

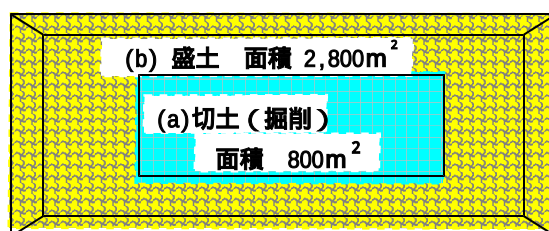
[断面図]



- 事業予定地 (C) の場合 (盛土のみ行う場合)
形質変更の範囲は、 $2,100\text{m}^2 + 1,000\text{m}^2 = 3,100\text{m}^2$ となり、 $3,000\text{m}^2$ を超えますが、切土 (掘削) を行わないので、届出は不要です。

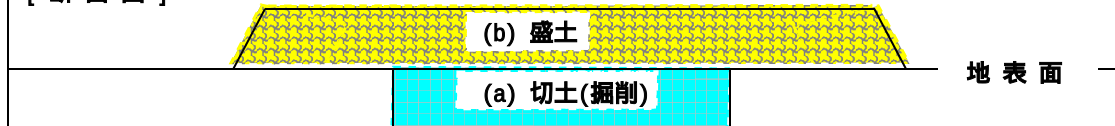
事業区域 (D)

[平面図]



(a) を掘削した後、(b) の範囲に盛土する場合

[断面図]



- 事業区域 (D) の場合 (区域の一部を掘削し、その上に盛土する場合。)
形質変更の範囲の面積は $2,800\text{m}^2$ であり、 $3,000\text{m}^2$ 未満なので届出不要です。